

平成29年7月九州北部豪雨による流木災害等を踏まえた治山対策について

背景

- 平成29年7月九州北部豪雨では、発達した梅雨前線等の影響で、24時間降水量が500ミリを超える記録的な豪雨となり、山腹崩壊に伴い発生した流木が下流に大きな被害を与えた。



山腹崩壊の状況(福岡県朝倉市)



流木の堆積状況

緊急点検の実施

対象：過去に流木等による甚大な被害が発生した履歴のある全国の中小河川流域の崩壊土砂流出危険地区※等
(※山腹崩壊等により発生した土砂等が流出し、災害が発生するおそれのある地区)

内容：崩壊土砂流出危険地区等の整備状況
(崩壊発生履歴、治山施設の整備状況、森林の状況等)

※ 国土交通省と緊急点検結果を共有し対策に反映

整備が必要な箇所の抽出

「流木災害等に対する治山対策検討チーム」による検討結果を踏まえ、必要な治山対策を実施